

睦崎さんのアメリカ便り-2

2016-4-24

春の訪れとともにNJにも木蓮のピンクの花と、ハナミズキの白い花が満開を迎え華やかな風景になった。桜が満開の日本の景色とは異なり、短期間に一斉に咲き乱れるので孫の送り迎え時は景色を大いに楽しんでいる。もうすぐ6ヶ月の滞在期間を終えるが、過ぎてしまうとあつという間だったように感じている。「アメリカ便り-2」を寄稿します。

1. イースター(Easter) (復活祭)と日本料理

イエスキリストが処刑されて3日後に復活したと言い伝えられているお祭りで、今年は、3月26日がイースターだった。キリスト教信者には大きなイベントであり、会社、学校も休日になる。お祭りのイベントの内容は世界各国で異なるが、鶏の卵と兎のぬいぐるみの仮装を用いることは同じようで、キリスト教では卵と兎は古来より豊穡のシンボルだったそう。NJではこの日、近くの公園に7歳までの子供達が親と一緒に集まり、卵形をした色とりどりのプラスチックの容器を探し歩くイベントがあった。卵の中身は小さな玩具だが、子供達は、一人で6~7個位集めて大はしゃぎしていた。イースターのギフトとして、75世帯のホームレスの衣料を無料でクリーニングするというクリーニング屋もあり、56万円の費用を全て自己負担と言う太っ腹なニューヨーカーもいるのはさすがと思う。

さて、卵探しのその行事が終わると、家族、親戚が集まって教会で礼拝し、その後食事をして楽しむ。メインの食べ物は、クリスマスでは七面鳥だが、イースターはハムだそう。娘夫婦の家族は親戚、兄弟達と一緒に食事会に行ったが、私達は、日本人の奥さんに招かれて、寿司、ゆば、煮物など美味しい久しぶりの本物の日本食をごちそうになった。デザートは彼女お手製のチーズケーキ。このケーキはプロ顔負けの絶品で、彼女は以前、喫茶店を開く計画があったそうで腕前は確かだ。



近くの公園で行われたイースターのイベント



ご馳走になった日本料理

2. 貿易センタービルの復興

2001年9/11に起きた同時多発テロ事件から約15年が経った“グラウンド“0”の跡地は、すっかり様変わりしていた。104階建て541mの幾何学模様のビルがそびえ、その前は噴水付のプールと、それを取り巻くようにテロで亡くなられた方の名前が刻まれた1.5m幅の大理石の慰霊碑がある。この地域は、“ワン・ワールド・トレード・センター”と呼ばれ、観光スポットとして多くの観光客が世界から訪れている。テロの警戒もあって多くの警官がいたが、一緒に写真を撮りたいという我が家の孫の要望に、ライフルを持ったまま応じてくれた警官には私も驚いた。展望台に昇る検問所は厳しいチェックだったが当然だと思う。約30秒で104階に到着。映像で歴史を見せながら、最後にぱっとスクリーンが開いて本物のパノラマの光景を見せるあたりの演出はなかなかのものだ。ハドソン川とイースト川の合流している場所に自由の女神像があり、眼下にはマンハッタンの高層ビル群が一望できる。自由の女神像は何回も見たが、上空からの光景は飛行機から以外初めてだったので、感激だった。マンハッタンの高層ビル群の中でもシンボルであるエンパイアステートビルも眼下にはっきりと見ることができた。その先は広大なセントラルパークの緑地帯である。展望台のフロアを何回も廻り、飽きることなく眺めたが、やはりマンハッタンのスケールの大きさは格別だと納得した。



フリーダムタワー展望台



フリーダムタワー-2



フリーダムタワー展望台から
自由の女神

3. ハイラインの遊歩道

貨物列車用の路線として使用されていた高架線が廃線になったままになっていたが2009年7月に公園として蘇り、現在14丁目から34丁目までの全路線が開通し新しい観光スポットになっている。地上約10mの高架線のレールは約40%はそのまま残し段差をアスファルトや石畳道路にして両側に桜、ハナミズキ、もみじ、リンゴなどの木や草花が途切れることなく植えられている。ところどころにベンチも設置され、ゆっくりと市街地を高所から観光できることから、新しい観光スポットとして市民や観光客に今大人気になっているようだ。距離は約2,600mあり、車に注意しながら、信号待ちをしなければいけない路面の荒れた街中を歩くよりはるかに良い。また1ブロックごとに一般道に乗り下りできるエレベータが設置されているので便利だ。勿論無料。私達も娘と孫3人の6人で3時間位かけて歩いた。ベンチで休んだり、高架下を走る車や歩道の人々の様子、また様々な形のビルなどを見ながら今までにないマンハッタンの雰囲気を楽しんだ。34丁目で遊歩道を降りるとすぐそばに、Pier79のフェリーボートの搭乗場所があり、ハドソン川を約20分でNJ側に渡る。船上から見るマンハッタンのビル群も絶景だった



ハイラインー1



ハイラインー18丁目

4. 6ヶ月のアメリカ滞在を終えて

今回の孫守りの為の米国滞在は、当初50%が孫守りで残り50%は私達の自由時間になると思っていたがとんでもなく80%が孫守りだったように思う。日用品や食料品の買い出しに車の運転を頻繁にしたので、帰国後の運転に多少の不安を感じている。3人の孫達の世話は大変だったが、日々成長していく姿に疲れも忘れ楽しい6ヶ月間のアメリカ生活だった。

米国内の巷でのもっぱらの話題はトランプが大統領になったら、米国を脱出するという意見が多かったことだ。日本や世界にも影響を与えるだけに、11月がどうなるのか興味深いことである。

以上

